

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	美菜第一学院			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日	～	令和7年12月10日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	76	(回答者数)	71%
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日	～	令和7年12月10日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	100%
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設が広く活動スペースが十分である。	ホールがあるので天候不良でも体が動かせる。 掃除のスタッフを雇い清潔を保っている。 年齢や特性によって活動スペースを分けている。	構造化をすすめていきより良い療育環境に努めていく。
2	色々なプログラムがある。	イベントでは打ち合わせを重ねマンネリ化しない工夫がある。 祝日の外出企画が増えた。	子どもや親の意見もきいてより楽しめるイベントの企画をする。
3	保護者支援が充実している。	保護者の立場に寄り添った話し合いができる。 親の要望に応じて柔軟な対応ができる。 時間外も高い意識をもっている。 父母会の実施。	父母会の周知。 親の方から言えないことを話ができる場の企画。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応やマニュアルが周知出来ていない。	保護者が入れる所は限られていて手取りにくいと考える。	HPIにURLで公開するといつでも誰でも見られる。
2	外部研修の実施が少ない。	マニュアルがない。 勤務形態の都合上時間的な制約がある。	マニュアルを作る。 年1回は外部研修に行けるような仕組み作り。
3	地域との関わりが希薄。	移転があったのでこれから関係強化ができていくと良い。	地域住民と接するイベントの企画をする。 使える福祉サービスを開拓。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		美菜第一学院		公表日		令和8年2月3日			
		利用児童数		76		回収数		71%	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	98%			2%	場所が新しくなり広くなって良かった。ホールで遊べるのが楽しいようです。	今後も設備基準を遵守しながら適切なスペースの確保に努めていきます。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	92%	2%		6%				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94%	2%		4%	バリアフリーが行き届いていると思う。イベントの際に何う為通常の時にどれくらいの構造化がされているかわからない為。	今後も環境整備に努めていきます。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				大変心地よいと感じています。	今後も清潔な環境の維持に努めていきます。		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	98%	2%			お願いした課題はすぐに取り入れ取り組んでいる。	今後もお子様の特性に応じて環境に配慮しながら支援していきます。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	98%			2%				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%							
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	98%			2%				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%							
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	98%			2%				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	30%	17%	14%	39%	ポッチャの大会参加は子どもも楽しみにしています。子供の特性から必要ないと思われます。	事業所間での交流や、市や県のポッチャ大会に参加しています。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%							
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	94%	6%			ペアレントトレーニングは親としても機会があれば積極的に参加したい。	ペアレントトレーニングも含め、ご家族からの要望を踏まえた勉強会を行っています。		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				面談等で細かく説明いただき理解出来ていると感じています。何かあればすぐに1番に相談させていただきます。	今後も振り返りをしっかり行っていきます。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%							
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%							
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	92%	6%		2%				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	96%	2%		2%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				定期的に便りが発行されており情報を共有しやすいです。	今後も情報共有をしっかりと行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	98%			2%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96%			4%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	87%	2%		11%	移転してからの対応マニュアルが変わった点があれば教えてもらいたいです。	閲覧用ファイルをご用意しておりますが、ホームページなどへの掲載も検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	83%	4%		13%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%			8%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	96%	2%		2%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				大変安心感を子どもはもっています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	94%	6%			毎回楽しく利用させていただいています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				今後ともよろしくお願います。いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		美菜第一学院		公表日 令和8年2月3日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		発達の課題に応じて部屋わけがされている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		個別対応が必要な子への柔軟な対応ができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		扉の色を変えたり、部屋の名称をイラストも交えて表記している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		掃除のスタッフもいて清潔が保たれている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		柔軟な対応ができ、環境の工夫がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		個人との面談が実施されている。 ミーティングで。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%		不十分である。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		支援会議が出来ている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			共有の手段については課題がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		5領域を組み込んだ支援計画やプログラムが出来ている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		担当者を中心に話し合いが出来ている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%		意見が出ても実行に移すのは難しい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		日案により担当する児童が明確化されている。 朝礼で確認。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			長期と土日のみ。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%		子供の様子や対応に関しての記録は不十分。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		月の更新児童が把握できるように一覧で管理している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%		ポッチャ大会に出場。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		おやつは選べる。	たまに選べる。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		必要に応じて学校へ連絡している。 週案で確認。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	25%	75%		不十分。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	25%	75%		移行のケースがないが準備の必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	利用児童の受け入れなど相談出来ている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	ポッチャなどの交流がある。	難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	25%	75%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		丁寧な振り返りを心掛けている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		保護者のニーズを知り企画周知している。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		担当者がある事で平等に説明ができています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		内容に応じて担当や得意な先生が対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		父母会は年2回程実施出来た。	兄弟支援は不十分。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		誰に相談するかが明確になっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		移転して地域の人との交流が盛んになった。夏祭りに招待。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			周知が不十分。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%		地域の特性について理解が不十分。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		保護者からの申告。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%		周知が不十分。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%		継続的に取り組めていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%		計画実施が不十分。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	50%	50%	計画書にない。	計画実施が不十分。	